**第１章　古代文明**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | オリエント文明，インダス文明，中華文明などの古代文明の歴史的特質に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第２章　東アジアと中央ユーラシア**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 秦・漢と遊牧国家，隋・唐と近隣諸国の動向など東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第３章　南アジアと東南アジア**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家の展開など，南アジアと東南アジアの歴史的特質に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第４章　西アジアと地中海周辺**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 西アジアと地中海周辺の諸国家の展開など，西アジアと地中海周辺の歴史的特質に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第５章　西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成など，西アジアと地中海周辺，ヨーロッパの歴史的特質に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第６章　イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第７章　中央ユーラシアと諸地域の交流・再編**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 宋と中央ユーラシア諸民族，モンゴル帝国の拡大と周辺諸地域の動向など，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりに関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第８章　大交易時代**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動など，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第９章　アジア諸地域の帝国**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮の動向など，アジア諸地域の特質に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第10章　近世ヨーロッパの形成と展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想など，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第11章　産業革命と大西洋革命**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 産業革命と大西洋革命による政治・社会・経済の変化，革命の意義に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第12章　近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 19世紀の欧米諸国における自由主義とナショナリズムの高まり，南北戦争の展開など，国民国家と近代民主主義社会の形成に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第13章　地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の植民地化と諸改革・変革など，世界分割の進展とアジア諸国の変容に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第14章　第一次世界大戦と諸地域の変容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなど，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第15章　第二次世界大戦と戦後の国際秩序**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 世界恐慌とファシズムの動向，第二次世界大戦と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど，第二次世界大戦の展開と諸地域の変容に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第16章　冷戦と現代世界**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発など，紛争解決の取組と課題に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第17章　世界経済の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，南南問題，経済のグローバル化など，格差是正の取組と課題に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |

**第18章　科学技術の時代と知識基盤社会**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ（十分に到達できている） | Ｂ（一部は到達できている） | Ｃ（到達に努力を要する） |
| 知識・技能 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できている。 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し理解できていない。 |
| 思考・判断・表現 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，一つの根拠を基に判断・表現できている。 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいた思考・判断・表現ができていない。 |
| 主体的に学習に  取り組む態度 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。 | 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，情報通信技術の発達と知識の普及など，知識基盤社会の展開と課題に関する問いに対して， 自らの答えを出そうとしていない。 |